


稲垣佑馬 マリンバソロリサイタル

# Yuma Inagaki Marimba solo Recital



2025年2月19日[水]  
開場 18:30 / 開演 19:00  
すみだトリフォニーホール 小ホール  
(東京都墨田区錦糸1-2-3)

《チケット》一般 ¥4,000  
学生 ¥2,000

 [pia.jp/t](http://pia.jp/t)  
0570-02-9999  
Pコード 282810

## プログラム

Velocities / Joseph Schwantner

この道の主題による新曲 / 向井耕平(初演)

Mirrors of Emptiness / Grigory Smirnov

他

《お問合せ》 [yinagakiconcert@gmail.com](mailto:yinagakiconcert@gmail.com)

《後援》名古屋芸術大学 中部打楽器協会

# 稲垣佑馬 マリンバソロリサイタル



## 稲垣佑馬プロフィール

ソロマリンバ奏者として定期的にリサイタルを開催するなど精力的に活動するほか、打楽器奏者としても室内楽への参加、オーケストラや吹奏楽団体への客演など幅広く活動している。繊細なテクニックから紡ぎ出される多彩な音色は「会場全体を温かな空気で包み込むよう」「和声を感じられる美しい打楽器だ」と評される。

東京音楽大学在学中より新作初演に積極的に取り組み、また特に近年は作曲家への委嘱も行いクラシックにおけるマリンバ、打楽器の新たな可能性の模索を続けている。これまでに初演した作品はソロ、室内楽ほか様々な分野で約30曲にのぼる。2021年にはマリンバとエレクトロニクスのコラボレーションをテーマにループやディレイ等エフェクトを用いた新作初演を含む意欲的なリサイタルを開催し好評を得る。2022年、Alejandro Viñao 氏の来日作品個展コンサートに出演。Viñao 氏から「'Water' はこれまで聴いた中でも特に素晴らしい演奏だった」と称賛される。同年末には渡辺康氏のループとディレイを同時に用いた作品 'Mode Reaction' を電子マリンバ Mallet Station を用いて初演。これらエレクトロニクスやエフェクトを用いた演奏活動から人間性と機械の調和を探究。2023年には名古屋芸術大学ウインドシンフォニー第3回定期演奏会にて伊福部昭作曲ラウダコンチェルトータのソリストを務めるなど、様々なクラシック音楽シーンで活躍の場を広げている。

三重県出身。愛知県立明和高等学校音楽科を経て、東京音楽大学音楽学部器楽専攻を卒業。その後アメリカへ渡りさらに研鑽を積む。これまでに石田まり子、岡田真理子、藤本隆文、小森邦彦、Robert van Sice、Jeff Stern の各氏に師事。現在は東海地方を中心に各地で演奏活動を展開。名古屋芸術大学非常勤講師。



X (Twitter)  
@Yuma\_56\_Inagaki



Instagram  
@yuma\_inagaki

## 《会場案内》

### すみだトリフォニーホール

東京都墨田区錦糸1-2-3

JR総武線「錦糸町駅」北口より徒歩5分  
東京メトロ半蔵門線「錦糸町駅」3番出口より徒歩5分  
都営バス「錦糸町駅」下車 徒歩5分

